

# 平成29年度 第1回地域懇談会

平成29年度第1回地域懇談会は、各中学校区を統一した形で行います。通常の地域懇談会は、団体の長を招いて懇談をしていますが、地域の方々にも広くアクションプランを周知し、たくさんの方に知ってもらいたいと思っています。また、他の中学校区のアクションプランを知りたいという声もよく聞かれます。他の中学校区の動きを知ることで、良いことを自分たちのアクションに取り込めるからです。また、**他の団体とつながる**きっかけを作ることでもあります。このようなことから、平成29年度第1回地域懇談会は全中学校区を統一した形で行います。

では、どのような形で行うのか。

## ・新しいコミュニティづくり白書

今まで市が行ってきた地域コミュニティ施策の改革を振り返り、今後目指していく新しいコミュニティを多くの市民で展望していきます。

## ・各中学校区のアクションプランの報告

8中学校区で行っているアクションプランについて、それぞれの中学校区の実行委員の方から報告をしてもらいます。

## ・パネルディスカッション

8中学校区の実行委員の方々とコーディネーターでアクションプランについて討論していただきます。

地域を構成する自治会(地域住民)、企業、大学、地域団体が一同に顔を合わせることで化学反応が起こるのでは、と期待しています。

自分たちが住む地域をより良くするため、地域懇談会に来てみませんか。

日付：平成29年6月3日(土)

時間： 11時 開場  
11時30分 開始  
13時50分 終了予定

場所：ひの煉瓦ホール(市民会館) 大ホール  
(日野市神明1-12-1)

内容：①新しいコミュニティづくり白書  
②各中学校区のアクションプラン報告  
③パネルディスカッション  
コーディネーター：井上 赫郎氏  
(株式会社 まちづくり研究所代表)

申込：必要ありません。直接会場へご来場ください。

参加費：無料

問合せ先：日野市企画部地域協働課 電話042-581-4112

# 地域かわら版

地域がつながるフリーペーパー



## 特集 アクションプラン実施!!

通算第21号

# 地域懇談会と アクションプラン

人口減少と少子高齢化は日野市でもじわじわ進んでいきます。

これに伴い、防災や介護等、これまでの行政サービスは行き届かなくなっています。

誰もが日々実感できるような目に見える変化ではない、ゆっくりと進行するこの変化は危機感がなく、対応が遅れる傾向にあります。

しかし、下を向くことはありません。

平成26年度から市内8つの中学校区で市民が地域の魅力(可能性)を見つけ、課題を洗い出し、コミュニティの活性化を考え、そして、平成28年度から課題解決へのチャレンジを始めました。

このチャレンジを「アクションプラン」と呼んでいます。

アクションプランは各中学校区でそれぞれ異なります。

しかし、どこの地域の課題でも多く挙がっていたものは、やはり高齢化や防災についてでした。

そこから導きだされるものは、地域内の「つながりが大切」ということ。

アクションプランを地域の方々が中心となって行うことで、地域内の「つながり」が生まれ、地域内の課題は徐々に改善の兆しが見えていきます。

誰かがやるのではなく、みんなができることを持ち寄りながら進める。

しかも同時に地域愛を育みながら。

人間関係の希薄化が叫ばれる中、簡単なことではありませんが、アクションプランを継続し、よりよいまちにするため、皆さんの力をつなげていきましょう。

## ■ 地域懇談会

これまでの地域懇談会  
平成16年度～平成25年度



地域は多くの団体が構成されている  
平成26年度からの  
地域懇談会 (イメージ)



## ■ 地域懇談会3か年計画

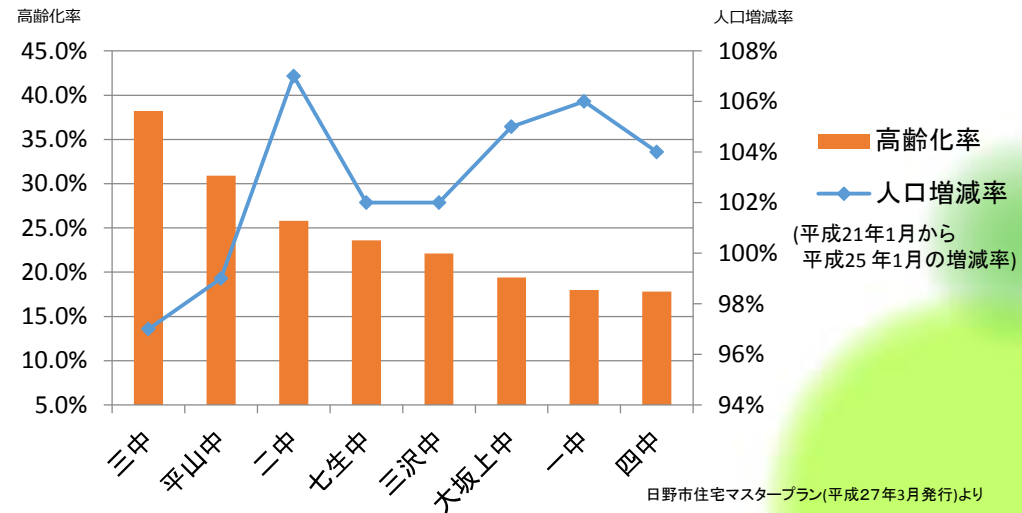
平成27年度テーマ  
地域がコミュニティ活性化を考える!!

平成26年度テーマ  
地域が地域を知る

平成28年度テーマ  
地域がつながり  
動き出す…!!!

各8中学校区で  
テーマを決めて  
取組始めた

## ■ 各中学校区の高齢化率と人口増減率





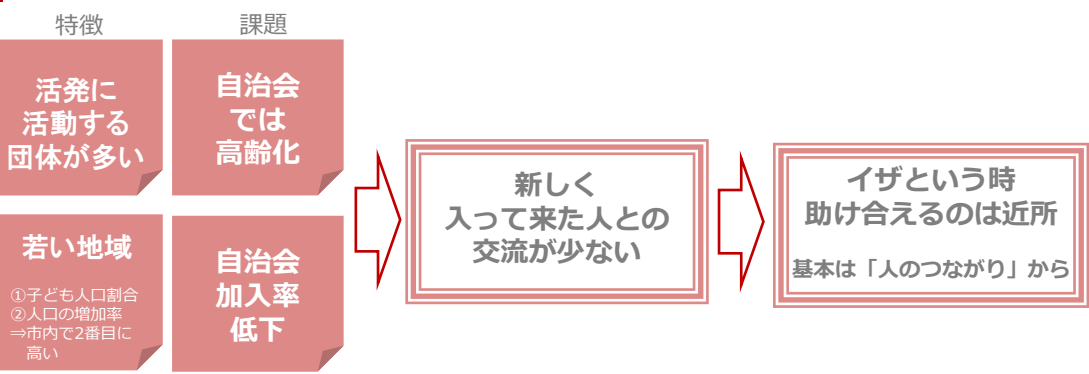
「仲田の森で夏祭り！」の会場  
仲田の森蚕糸公園と桑ハウス



「仲田の森で夏祭り！」でのラジオ体操の様子

## 一中地区 上田、川辺堀之内、日野、日野本町、万願寺1~4丁目

### 地域の特徴・課題



### ねらい

**「顔の見える関係」を作ろう！**

仲田の森蚕糸公園は、一中地区の地域懇談会にて、好きな場所として一番多く選ばれた場所です。そして、多くの団体が活動している場所でもあるので、この公園で実施しました。

### アクションプラン

**仲田の森で夏祭り！**

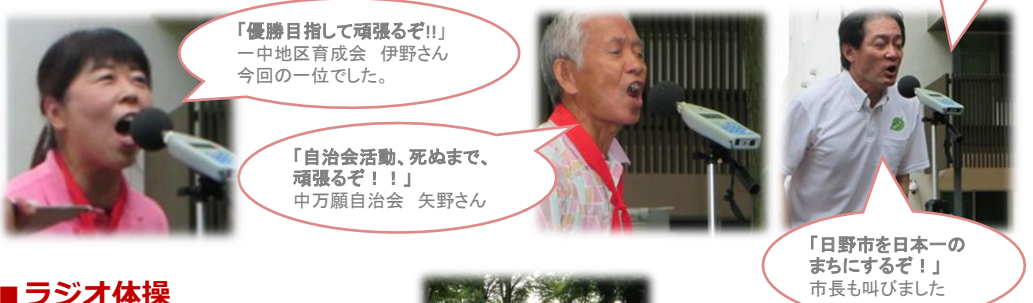
一中地区は、市内でも若い地域であり、活発に活動している団体が多いという特徴があります。  
一方で、自治会に目を移すと、高齢化や自治会加入率の低下という問題を抱えており、新しく入って来た人との交流が少ないという現実があります。  
災害時など、イザという時に助け合えるのは、近所です。基本は人のつながりからです。つまり、「顔の見える関係」が必要です。  
そこで、団体間の交流から始めて、地域の方が顔を合わせる場を作ろうと、実行したアクションプランが「仲田の森で夏祭り！」です。  
ラジオ体操、大声コンテスト、出店、一中吹奏楽部の演奏など24団体からの協力がありました。しかし、当日は、雨の為、当初予定したプログラムの半分もできず、残念でした。  
このイベントの準備にあたり、顔を合わせて、熱く話し合ってきました。つながるきっかけ、つまり、「顔の見える関係」の第一歩となりました。  
引き続き、「顔の見える関係」を作っていくために活動していきたいと思います。



### 活動報告

#### ■有言実行大声コンテスト

『まずは顔を合わせてつながる！』  
みんなが集まるところで、大声で話せば、伝わるはず！…というのが趣旨。やりたいことを口に出し、みんなで共有するのが目的です。  
楽しくやるための大声コンテストです。



#### ■ラジオ体操

子どもから高齢者までラジオ一つで気軽にでき、健康にも役立つということで、取り入れました。



#### ■様々な団体の出店



昔遊び体験、自然遊び体験などの遊びコーナーや、綿あめ、ポップコーン、大判焼きなどの食べ物コーナーなどのお店ができました

#### ■一中吹奏楽部の演奏



最後に、一中吹奏楽部による演奏。この後、さらに雨足が強くなり、中止となりました・・・



まち歩きで学ぶ 多摩平の森とストーン牧師の歴史



パン屋激戦区でパンの食べ比べ (写真: アイグラン泉塚店にて)



いつも通っているのに気付かなかった綺麗な草花を発見!

## 二中地区

日野台4~5丁目、多摩平2・4~6丁目、豊田、東豊田2~4丁目、豊田1~4丁目

### 地域の課題

- 1 新・旧住民の交流の場が少ない
- 2 自治会の情報が伝わらない
- 3 高齢者が若い世代と交流する場が少ない
- 4 商店の活性化

地域内の人と人のつながりを創ることで課題解決の一步に!!

- なぜつながりが希薄になるのか?
- 1 地形(台地・線路等)
  - 2 働き方・核家族化
  - 3 関心をもつ機会がない

ここに着目してアクションプランを計画!!

### ねらい

地域の魅力を知って、活用することによって、地域に関心をもってもらい、地域活動の仲間を増やそう!!

### アクションプラン

## 二中地区ブランニング!!!

#### ブランニングって?

- ①Burabura = プラプラ気軽に歩きながら
- ②Planning = 地域の魅力を活かす方法をプランする

人口増加率が最も高い二中地区。新しい住民の人も地域の仲間になってほしい..でも仲間になるにはどうすれば?と考えた結果、実行委員会から出てきたのは「まちの魅力」。二中地区は都市と自然が共存する二中地区のまちの魅力を使って、地域に関心をもってもらおうとスタートしました。

単にまちを一緒に歩いて楽しかったねで終わりにせず、一緒に歩いたメンバーで、地域の魅力を活かす方法を一緒にプランしていくことで自然と仲間になっていく..無理なく、ゆるやかに二中地区内の人と人とのつながりを創っていくことを目指します。



### 活動報告

#### 1 おすすめスポット探し!



まずは地域のおすすめスポット探し! 二中地区地域懇談会に参加した約50人が7グループに分かれ、実際にまち歩きをしながら、二中地区内のおすすめスポットを探しました。すべてのグループのまち歩きが終わったあと、共有会を実施し、各グループがプレゼンテーション! 二中地区内のおすすめスポットを紹介しあいました。

#### 2 おすすめスポットを1つにまとめたブランニングマップ作成!



各グループが歩いて探したまちのおすすめスポットを実践女子大学と協働で一つのマップにしました。これを使って来年度のブランニングツアーを実施します。

実践女子大学と協働制作!!

#### 平成29年度の予定 ブランニングツアー&写真コンテスト開催します!!

平成29年4月~9月	10月~1月	平成30年3月
<b>二中地区団体限定ツアー</b> 二中地区の団体さんと一緒に地域の魅力や団体活動を紹介するツアーを考え、コーディネートします。	<b>誰でも参加OKツアー</b> ①10月21日(土) 10:00~ ②11月18日(土) 10:00~ ③12月16日(土) 10:00~ ④1月13日(土) 10:00~	<b>写真コンテスト開催</b> 4月~1月の間に行ったブランニングツアーで撮った写真のコンテストを開催



お問い合わせは、[2chu.buranning@gmail.com](mailto:2chu.buranning@gmail.com)までご連絡ください。

実行委員長 多摩平五丁目自治会 会長 茂呂 泰一郎さん

みなさんは、**住んでいるまちをどのくらい知ってますか?**ただ住んでいるだけではもったいない。特に豊田地区は北と南では歴史も違い、こんなにも見所が対照的であり、歩いても飽きません。アクションプランで集まったメンバーでプラプラ歩いて集めた情報を元にストレスを感じない地図を作りました。今度は市民の皆さんの番です! **地図を眺めて一緒にまち歩きブランニングをしませんか!** 実行委員会のメンバーがご案内いたします。

食べる、見る、感じる、眺める、振り替える、思い出す、話し合う、撮る、様々な感触を味わうことができます。今年の10月からブランニングコースを4つ作り皆様の参加をお待ちしております。3月にはブランニングで歩いた場所の写真コンテストも予定しています。お楽しみに!



簡単防災訓練のプログラムのひとつ  
ナマスの学校



湯沢福祉センターでのアクションプラン後の懇親の様子

## 三中地区

三沢4・5丁目、程久保、  
程久保1～8丁目

### 地域の課題

- 1 防災・減災
- 2 つながりが希薄
- 3 高齢化が進んでいる(市内で一番)

### 地域の特徴

- 大学がある
- 丘陵地がある

課題を克服するには、  
地域内の交流を活発にすること。

### 活動報告

平成28年度は、簡単防災訓練を3回実施しました。

- ①対象：日野市老人クラブ連合会 東部地区代表者の方々  
参加者数：37名(実行委員含む)
- ②対象：三井台自治会の方々  
参加者数：43名(実行委員含む)
- ③対象：ゆざわここからネット及びゆざわ福祉センター利用者  
参加者数：38名(実行委員含む)

簡単防災訓練を行った結果、

- ◎簡単防災訓練を実施し、今までつながっていなかった団体と知り合うことができました。
- ◎実行委員が他の実行委員のイベントに参加した。

**団体や、人びとの交流が活発になりつつあると実感できました!!**



### ねらい

何もしなければ地域は変わらない。まずは防災をテーマにつなごう。  
小さなことでも始めてみよう。

三中地区の課題は他の地区と同じように防災やつながり、高齢化というものでした。この中から「防災とつながり」をテーマに何かできないか考えました。「大きなことはできないが、小さなことなら今すぐできる。続けるためには**楽しくやろう**」という発想からアクションプランが生まれました。

### アクションプラン

**簡単防災訓練を実施し、  
地域の交流を深める。**

### 簡単防災訓練は

- 1 防災について知ることができる。
- 2 みんなが顔見知りになることができる。
- 3 失敗したって良い。やって、また、考える。
- 4 実施後は楽しい交流会



### 簡単防災訓練って何をやるの？

- 簡単防災訓練って、イザ!カエルキャラバン!なんです。名前から何をやるかが分かりづらかったので、「簡単防災訓練」と言っています。神戸のNPO法人プラス・アーツが、阪神・淡路大震災の教訓をもとに楽しみながら学べる防災訓練プログラムを開発したものです。そのプログラムは、以下のとおりです。組合せ自由で、子どもから大人まで楽しめます。
- ①ジャッキアップゲーム：災害直後の重い障害物・落下物を持ち上げることができる道具「ジャッキ」の使い方を学ぶプログラム。
  - ②毛布で担架：毛布や敷布、木の棒などの身の回りのもので、「担架」を作り、けが人を搬送する方法を体験するプログラム。
  - ③水消火器体験ゲーム：訓練用消火器を使って、消火器の使い方の手順を学びます。
  - ④持ち出し品なあに？：非常持ち出し品12品目を1分間で覚えるゲーム。
  - ⑤紙食器づくり：食器などが破損した際に、新聞紙を使って簡易食器を作ります。
  - ⑥なまずの学校：震災時に発生するトラブルを紙芝居形式で出題します。組合せ自由で、子どもから大人まで楽しめるものとなっています。

三中地区は、高齢化率が市内で一番高い地域ですが、高齢者は、まちのつながりの「要」になっています。経験豊富な高齢者の方々とともに、自分たちのできる事(アクションプラン)をゆっくりと進めていきます。みなさんの団体でもアクションプランを行ってみませんか。



# 七生中地区

川辺堀之内、東豊田1丁目、南平1~9丁目

## 地域の課題

- 1 犯罪件数が他地区に比べて多い。
- 2 自治会加入率が低い。
- 3 高齢者の引きこもりが多い。

これらの課題解決の  
ベースとなる  
「顔の見える関係」を創る

## ねらい

地域に関心を持つ仲間を増やし、  
いざという時に一致団結でき、日頃安心して暮らせる地域をつくる

地域活動をしていてもいつも同じメンバーで団体内の人しか知らない…近所の人の顔がわからない…を解消し、顔の見える関係を創るために、「団体と団体」「団体と個人」「個人と個人」がつながることができるきっかけづくりをしていきたいと思います。

## アクションプラン

ななおBONまつり

### なぜ運動会でも音楽祭でもなく、BONまつり？

改めて考えてみました..  
過去のこのまちを振り返って、**顔の見える関係があった時代**っていつだろう？  
そこで出てきたのは、**昭和50年頃**。  
この頃、子どもがいたずらをするとう近所のおじさんに怒られ、近所のおばさんにかくまってもらい、この時代に七生で育った人たちは、「地域に育ててもらった」とよく聞きます。  
また、地域の人々が亡くなったときには、地域の会館で、地域の人によってお葬式もされていました。



この頃は、地域みんなで暮らしていた地域の**「共同体意識」**があったのではないだろうか。  
そして、この時代の七生を代表する地域イベントは、自治会連合による**盆踊大会**でした。この盆踊大会が地域が1つになるツールになっていたのではないだろうか。  
その盆踊大会を自治会だけでなく、育成会や消防団、市民活動団体等多様な主体による「BONまつり」を新しい形で復活させ、顔の見える七生地域を創ることを目的に、「ななおBONまつり」を開催する運びとなりました。

◀写真：昭和53年の盆踊大会（清水 守男さん提供）

## 活動報告

平成28年10月22日（土）16：00～20：00

南平体育館にて実施しました!!

出店団体 29団体  
協賛団体 82団体  
総勢111団体で、一丸となって七生中地区を盛り上げようと実施しました。



開会式・開会宣言



アリーナ内 市民活動団体ブース

当日は770名の来場者があり、最後のBONダンスAKB48「恋するフォーチュンクッキー」を三重の円になって踊る様子は圧巻でした。  
七生中地区にとって忘れられない夜となりました。

## ななおBONまつりから始まった地域の変化

### 1 向島自治会

BONまつりで出会った仲間の力を借りて、自治会内で初の炊き出し防災訓練を開催!!



### 2 南平九丁目自治会

BONまつりの勢いに感化され、何かしよう!と、自治会内で初のクリスマスコンサートを開催!!



## 平成29年度の予定

平成29年9月9日（土）南平体育館にて開催します!!

南平体育館建替え前の最後のななおBONまつりとなります。  
ぜひ多くの方のご来場をお待ちしております!!



実行委員長 和田 貴善さん

私たち七生中地区アクションプランでは、かつて七生中地区で開催されていた地域の盆祭りを復活させ、七生中地区に暮らす方々がもっと顔の見える関係になれるようにと考えました。  
しかし単に盆踊りといっても電装、音響、警備、広報、会場、踊り、会計などなど、とても多くの人や物が必要で、何も無い状況からのスタートではなかなか思うように話が進みませんでした。が、やはり**最後はマンパワー!!**人と人との繋がりを辿っていくと課題も一つ一つクリアすることができ、また地域の皆さんの温かい応援、励ましもあり《第一回ななおBONまつり》は大成功でフィナーレを迎えることができました。  
《第二回ななおBONまつり》は平成29年9月9日です。飲食店の数やダンス曲を増やし、よりパワーアップした《ななおBONまつり》にしたいと考えています。また前回よりもっと地域の方々に関わっていただき、未来に向けた**七生中地域の宝**にしたいと思っています。



## 四中地区

さくら町、多摩平1・3丁目、富士町、旭が丘1~6丁目、東平山3丁目、西平山3~5丁目

### 地域の特徴

- 旭が丘中央公園
- 子どもの割合が市内で一番多い
- 集合住宅の割合が市内2番目



### 地域の課題

- 集合住宅と戸建て住宅のつながりの希薄化
- 若い世代・新しい人々が自治会に入っていない
- 子育て世代の忙しさと負担感

### ねらい

若い世代と高齢者世代、昔からの住民と新しく来た住民とが、楽しく気軽につながるきっかけを作ろう!!

①地域課題・特徴を踏まえよう、②継続していくために楽しもう、③誰でも気軽に広く関わられる取組みにしよう、という点を意識し、④無理せず、次のステップにつなげる小さな1歩を目指すことにしました。

### アクションプラン



ラジオ体操で四中地区がつながる!!

#### ■ どうしてラジオ体操？

- 夏休みの子どものラジオ体操は、共働きの親も多中で運営が負担になっています。また、朝に音を鳴らすので、地域の理解が必要になっています。「地域」で行うことで親世代の負担を減らしていきたい、という思いを込めています。
- 四中地域は核家族が多い割合を占める中、普段顔を合わせる機会が少ない親世代と高齢者世代とが、子どものラジオ体操をきっかけに顔見知りの関係になることを目指したい、という思いがあります。
- 子どもにとっては2学期に向けての生活習慣づくりになりますし、大人にとっても健康づくりになります。
- ラジオ体操なら誰でもできるので、新しい人も気軽に参加することができると思いました。

#### 実行委員長 東桜子さん



若輩ながら、四中地区の実行委員長をやらせていただきました 東 桜子 です。「子どもたちだけでも安心して出歩けるような地域にしたい!!」という、子ども人口が多い四中地区ならではの思いからのスタート！ ゆくゆくは、シルバー世代のケアや防災意識につながる強い地域へと、四中地区のシンボル「旭が丘中央公園」を拠点に諸先輩方と共につなげていきたいと思っています。



### 活動報告

#### ■ 7会場でのラジオ体操 = 総動員数6,053人

夏休みの最初と最後の一週間、四中地区内7会場で行ったラジオ体操を実施。既にラジオ体操を運営している団体を中心に、自治会や老人クラブなど地域の方々が協力し、子供だけでなく大人も参加できるラジオ体操を行いました。

また、旭が丘ラジオ体操会の指導員の方々が分担して会場に行き、みんなの目の前でラジオ体操の見本を見せてくれました。各会場では、挨拶する際にハイタッチを行い、多世代交流を行いました。子ども達は朝から元気よくハイタッチをしており、大人は子ども達からたくさん元気もらいました。



#### ■ 夏休みイベント「8時だよ！全員集合！In旭が丘中央公園」 = 参加者444人♪

夏休みの8月28日(日)10時から、旭が丘中央公園で、ラジオ体操のイベントを実施。開始当初小雨だったにもかかわらず、参加者は「444人」！四中地区らしい数字です！大人で行ったラジオ体操は圧巻でした。

また、「じゃんけん列車」や日野にちなんだ〇×クイズ「ひのウルトラクイズ」で盛り上がりました！

参加した方からは、「普段話す機会のない方と交流できて楽しかった！」と言ってもらえました。

- 協力団体23団体以上
- 協賛団体57団体 = 総額222,000円



▲四中地区アクション® ランシャツ



じゃんけん列車



#### ■ 平成29年度の予定

四中地区アクションプランの理想は、地域全体が自由に参加できるラジオ体操を地域が一体となって行っている、そこでは毎朝笑顔で挨拶を交わす関係がある、そんな環境が自然と根付いている地域です。いつ達成できるかはわかりません。それでも、小さくても1歩ずつ、みんなで取組んでいくことが大切なのです。

平成29年度も「ラジオ体操で四中地区がつながる!!」は夏休みに開催する予定です!!

この地域ラジオ体操を、地域の連帯感を高めていく第1歩とし、みんなが1人1人できることを持ち寄って、安心して住み続けたいと思う街を作り上げていきたい。この思いに賛同していただける方は是非お声かけください！



炊き出し食事会の様子



餅つき大会の様子

## 三沢中地区

万願寺5~6丁目、石田、石田1~2丁目、新井高幡、三沢、三沢1~3丁目、百草、落川

### 地域の課題

特徴

課題

高齢者  
単身世帯数  
が多い

単身の  
高齢者世帯

一人暮らしの高齢  
者が増えている  
見守る人がいない

三世帯世帯  
の割合が  
低い

子育て世帯  
の孤立

核家族化により  
一人での子育てが  
増えている

地域活動  
が活発

落川交流セン  
ターの取組など

地域への興  
味はあるが  
きっかけが  
ない！

助け合い  
必要

つまり

「顔の見える関係」  
必要

でも

どんな活動が  
行われているか  
知られていない

ならば

「顔の見える関係」  
が必要なら  
こちらから迎えに  
行こう！

ねらい

気がねせず声かけあえる地域にしよう！

アクションプラン

ちょこっと声かけたい！

災害時はもちろん、普段から助け合いは必要です。つまり、「顔の見える関係」が必要です。その為に、「こちらから迎えに行こう！と、高齢者や子育てしている人などの「少し気になる人」・地域デビューに興味を持ってほしい人などの「きっかけが欲しい人」に、落川交流センターのイベントを中心に声かけを行い交流をしました。そこで、数多くの活動をしている落川交流センターのイベントである、災害時の炊き出し訓練を兼ねた炊き出し食事会、ソーメン大会、餅つき大会や地域のお祭りなどに9回の声かけ活動を行いました。ただイベントに来てもらうだけでなく、一緒にイベントを手伝ってもらったり、自治会のイベントと一緒に共催したり、工夫をして交流してきました。この活動が、「顔の見える関係」の第一歩となりました。



### 活動報告

#### 炊き出し食事会（落川交流センターイベント）



参加者全員で、保管されている釜、薪の場所を確認し、お米を炊き、みんなで机を囲み、コミュニケーションを取りながら炊いたお米を食べます。今まで来なかった家族連れの参加などがありました。

#### ごみゼロ収穫祭（落川交流センターイベント）



自治会、市民活動団体、消防団、子ども会、大学生など多くの皆さんが集まって、実施したイベントです。日野産小麦粉の手打ちうどん、日野産野菜の芋煮、銚子の秋刀魚の塩焼きなどをみんなで楽しみました。参加者は、前年度比40%UPと多くの方に楽しんで頂きました。

#### こんな工夫をしました

炊き出し食事会と自治会のウォーキングイベントを共催！参加者が例年の炊き出し食事会と比べ約400%up！自治会にとっても、歩くだけでなく、ご飯を食べながら親睦を深められました。



子育てカフェ「モグモグ」では、不用となった子供服などを集め、持って行ってもらう「持ってけ市」を企画！ごみゼロ収穫祭の中で、ブースを出しました。あまり外に出かける機会が少ないママ達も運営側として参加し、関わり方が主体的になりました。さらにママ友に声をかけて、人が人を呼ぶ企画となりました。







# 大坂上中地区

大坂上、柴町、新町1～5丁目、神明1～4丁目、多摩平7丁目、日野台1～3丁目、

## 地域の課題

- 1 防災への取り組みが不十分
- 2 周りとの交流がない
- 3 役員のなり手がいない  
自治会役員は負担というイメージ
- 4 世代間交流がない

## 課題解決のアイデア

- 楽しみながら防災訓練できないかなあ～
- 協力しあう(つながり)って重要だと思う…
- 若い世代ともっと交流したい！

ではどうしたら…

まず他の自治会や諸団体がどのような活動をしているのか知ってみよう！

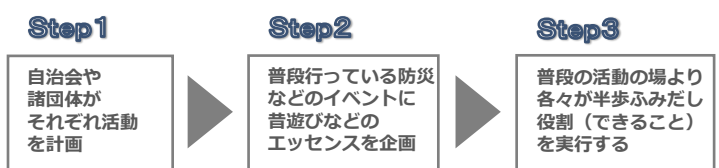
## ねらい

団体の枠を超えてつながりのある地域に！

## アクションプラン

昔遊び会で防災を考えよう！

「昔遊び」は高齢者や子ども・子育て世代にも親しみがあることから三世交流を図ることができます。これを普段おこなっているイベント（防災訓練など）に別のエッセンスとして加え、新たな出会いやつながりをつくります。そのつながりが気軽にあいさつのできる関係（「いざという時に助け合える関係」）へとつながっていくのです。「防災」×「昔遊び」は、一つの例に過ぎません。普段の活動の場から半歩踏み出してみませんか？



## 活動報告（日野新坂下住宅管理組合自治会による「しんさかした秋の文化祭り」の取り組み事例をご紹介します。）

- Step1** しんさかした秋の文化祭り（展示イベント）を計画しました。
- Step2** 秋の文化祭りに「防災」の視点を盛り込み、防災グッズの販売や初めて防災訓練を行いました。また若い世代の参加や世代間交流を目的とした「昔遊び」や「餅つき」「ビンゴ大会」を行いました。



- Step3** 半歩みだした（お手伝いいただいた）取り組み  
防災訓練実施・展示作品の提供・昔遊び道具の提供及び実施  
餅つきの為に杵臼の提供、餅つきリハーサル演習・餅つき実施  
日野産のもち米提供など



日野新坂下住宅管理組合自治会理事 山中義明さん

今までは団地の居住者を対象に行っていた「秋の文化祭り」ですが、地域とのつながりの必要性を感じ、どなたでも参加できるイベントとして開催いたしました。4日間の開催期間中は、団地のボランティアやクラブに加え、近隣自治会や日野消防署や消防団、実践女子大学、東光寺小学校など、総数75名の多くの方々にお手伝いいただきました。また参加者も昨年の160名に比べ523名のかたにご参加いただき、楽しいひと時を過ごすことができました。今後も地域とのつながりを大切にしていきたいと思えます。



## 平山中地区

平山1~6丁目、東平山1~2丁目、西平山1~2丁目

### 地域の課題

- 1 空き家対策
- 2 防災・減災
- 3 つながりが希薄

課題はたくさんある。解決のためには**交流が必要**だということ。

### ねらい

どんな活動も人の結びつきから。  
まずは地域の組織交流から始めてみよう。

高齢化・空き家・災害対策・まちの活性化等々、地域の課題は山積みで複雑多岐にわたっています。アクションプランを一つに絞れなかったって絞り切れない。

→ どんな活動にも基本は人の結びつきから。  
まずは地域の組織の交流から始めてみようということになりました。

### アクションプラン

拡張平山地域懇談会を開く  
名称は「平山わの会」

#### 平山わの会って？

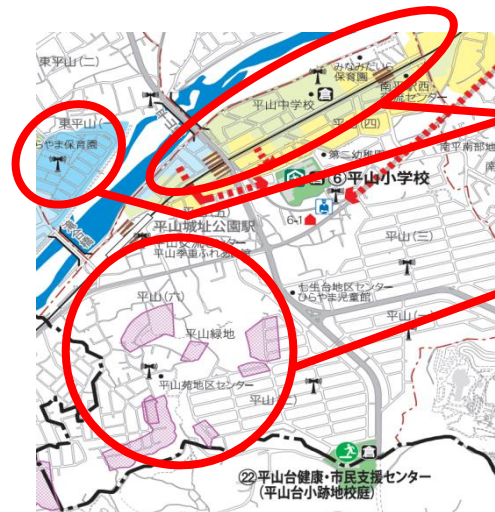
平山わの会は地域の課題などについて、2ヶ月に1回、みんなで懇談する場です。  
この会には自治会長や、老人クラブ、地域包括支援センター、市民団体など、様々な団体の方が参加され、それぞれの立場で懇談しています。  
また、平成29年3月には、懇談以外の事（平山用水歩き）も行ってみました。

まだ手探りの状態ですが、**平山に愛着**を持ってもらい、団体間の交流が活発になるように今後も平山わの会を続けます。  
みなさんも参加してみませんか。



### 活動報告

7月の平山わの会では、平山中地区の災害リスクについて話し合いました。



浸水想定エリア  
水害時は平山中学校は避難所として使用出来ません。

急傾斜地崩壊危険箇所エリア傾斜度30°以上、高さ5m以上の傾斜で、崖崩れが発災した場合に人家などへの被害の恐れがある箇所

※ 円で示した範囲はおおよそのものです。

#### なぜ今アクションプランなのか？

平山中地区は高齢化率が高く空き家も増えてきています。また土砂崩れや、浅川の氾濫による洪水も想定されます。  
今後、もっと高齢化率が高くなると、外に出ることもおっくうになってきます。  
このような平山中地区で大切なこと、それは交流を持つことではないでしょうか。交流があればすべてを解決できるというわけではありませんが、平山わの会では、第一歩目を交流から始めてみました。

